



生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日
[この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日
[この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

その他

素敵な本屋さん

投稿日：2017.07.27 名前：氏家賢明

日曜日に、青山の「青山ブックセンター」で中村さんの「ゲノムに書いていないこと」を書きました。私はこの本屋で時間を過ごすのが好きです。

本屋の矜持、好みがしっかり出ていて、私の好きな解剖学者の三木成夫さんの本が、なんと「思想、哲学」のコーナーに置いていたりするのです。素敵ですよ。彼はまるでゲーテのようで、解剖学や発生学にワクワク感を与えてくれました。

「ゲノムに書いていないこと」も読み進むごとに、いろいろなワクワク感をいただき嬉しくなってしまう。一言「ありがとうございました」を言いたくて、メールさせていただきました

お返事

投稿日：2017.07.27 名前：中村桂子館長

こちらこそありがとうございます。
三木先生の本はとても魅力的で私もよく読みます。生命誌も三木先生のお考えと重なるところがあると思っています。お読み下さった感想などまた書いて下さるとありがたく思います。

中村桂子の「ちょっと一言」

「惰眠」で思い出したこと

投稿日：2017.07.22 ニックネーム：j・h

猛暑の続く日々です、その後お身体いかがですか。どうぞゆっくりご静養なさってくださいませ。

風邪をひいたとき、思い出すことがあります。
もう何十年もまえのこと、熱を出して学校を休む日がありました。そんなとき母はいつもおかゆを作ってくれました。それに添えられた真っ赤な梅干し。今でも、真っ白のおかゆと真っ赤な梅干しを見ると母を思い出し温かい気持ちになります。早く良くなるようにという母の思いは伝わってきました。学校の授業が気になる私でしたが、それとは裏腹に、もう少しこの温かさに浸っていたいという気持ちもありました。
今思えば、あの時私は心地よい惰眠をむさぼっていたのかもしれませんが。懐かしく思い出しました。

お返事

投稿日：2017.07.26 名前：中村桂子館長

お見舞いありがとうございます。
白いおかゆと梅干しで忘れられないのは、大学院生の時、初めて一年間京都で一人暮らしをした時のことです。渡辺格先生（いつもは格さんと呼びしています）が、日曜日の夕食に招いて下さいました。美味しいお肉を楽しみ、よい時間を過しているうちに、様子がおかしくなり熱を計ったら9度。



- [10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)
- [10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)
- [昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)
- [パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)
- [あくあびあ芥川とスタンプラリー開催 \(19.10.01\)](#)

一人で緊張した生活をしていた気持ちが熱になったような感じでした。休ませていただいたその翌朝、奥様がまさに真っ白白いかゆと赤い梅干しを枕元に置いて下さったのです。大切な思い出です。



中村桂子の「ちょっと一言」

惰眠、不亦楽乎

投稿日：2017.07.20 ニックネーム：花置人

中村桂子様 肺炎でご静養中とのこと、一日も早いご快復をお祈りいたします。グレン・グールド演奏の「ゴールドベルグ変奏曲」は私も大好きで、雨の屋下がり何か音楽を聴こうとするとき、棚から引っ張り出すのはたいていこのレコードです。

毎日新聞で「ホモピクトルムジカーリス」（岩田誠著）の書評を拝読しました。

「ネアンデルタール人も歌を持っていたと思われる・・・協同での狩りにはリズム合わせも大事・・・音楽や絵画は『社会的行動』と共にあると言える」大変興味深いお話です。

農耕民族系の私は国歌、軍歌、社歌といった類は敬遠しますが、バナナボートや馬子歌のような作業歌には親しみを感ずります。

そして、音楽は「社会的行動」の基本となる「個人の精神活動」と深いかわりがあり、まさに「ゴールドベルグ変奏曲」は先生が「科学者が人間であること」で述べられた、「川が生きている、雲も生きている、風も生きている」という生命論的世界観を感じさせる曲ではないかと思っております。

僭越ながらバッハなどの名曲を聴きながらの「惰眠」は時として新しい世界観を伴った「覚醒」につながることもあるかと存じます、このような屁理屈を口実に私は惰眠のひと時を楽しむこととしている次第です。

一日も早いご快復をと言いながら、勝手なことを申し上げました、くれぐれも御身お大事に。

お返事

投稿日：2017.07.20 名前：中村桂子館長

御心配をおかけして申し訳ございません。先生から一応の治療終了を告げられ後は無理をせずと仰っていただいています。ヒトという生きものの特徴として集団をつくった時、そこに自ずと歌が生れたというのはなんとなくわかる気がしますよね。

暑いので無理をせず、少しづつ眼をさまそうかと思っています。



中村桂子の「ちょっと一言」

おだいに

投稿日：2017.07.19 ニックネーム：Teru

風邪をひかれたと・・・気をつけてくださいいね・・・

ゆっくりしていただく神様の配慮かもしれませんね。

クラシックを聞きながら静養されていると・・・

私は、ほとんどは、モーツァルトの曲から選んでます・・・日本では、未だ音楽療法認めていないようですが・・・セットで販売されてます。

最も好きな曲は別にあります・・・

朝食にはいろいろかけてます。

ご無理をされないように・・・

お返事

投稿日：2017.07.20 名前：中村桂子館長

御心配をおかけして申し訳ございません。あのお元気だった日野原重明先生が肺炎で亡くなられたというニュースにやはり気をつけなくてはと改めて思いました。生来怠け者なので怠けモードに入ればいくらでもそちらへ行きますから、それも気をつけてと思っています。



研究について

ヒントをありがとうございます

投稿日：2017.07.08 ニックネーム：エンドセラス

川名さま

ヒントになる先行研究を紹介してくださり、ありがとうございます。Google scalarにて先行研究をチェックしましたが、キジについて調べている方はいませんでした。

キジに限らず、鳥たちはどんなことを思いながら生きているのかを意識しながら論文を読ませていただきました。すてきな文章で、非常に参考になりました。ありがとうございます。

大まかに言ってみると、私たちの祖先も鳥でしたね。

レイチェル・カーソンの著書「センス・オブ・ワンダー」を読みながら、調べていきたいと思います。また質問させてください。よろしくお願いいたします。

お返事

投稿日：2017.07.13 名前：表現を通して生きものを考えるセクター川名

「生きている」を考える入り口はさまざまな所にあるなと日々、実感しています。また是非書き込んでください。

▲ ページの先頭へ

[サイトのご利用について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンクポリシー](#) | [サイトマップ](#)



JT生命誌研究館
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.